

豊後大野市 小中一貫教育校 朝地小中学校 開校式典

豊後大野市小中一貫教育校第1号、朝地小中学校が令和3年度4月1日より開校いたします。

それに先立ち、令和3年3月30日(火)、朝地小学校・朝地中学校の体育館にて「豊後大野市小中一貫教育校 朝地小中学校」の開校式典が実施されました。

まず、川野市長の式辞で高らかに豊後大野市小中一貫教育校の設置が宣言され、下田教育長から現朝地小学校朝倉校長へ新校旗が手渡されました。



朝倉校長からは、朝地小中学校開校までの児童・生徒・教職員、保護者・地域の方々の一致団結した活動の様子とともに、小中一貫教育校に対する可能性や期待が述べられました。

続いて、多くのご来賓から、新しいスタートを切る朝地小中学校への期待と応援の言葉を頂きました。

さらに、朝地町「絆の会」岩崎会長より、平成24年度から取り組んできた朝地町の地域の方々の小中学校への応援の姿とその集大成としての朝地小中学校の開校への思いが語られました。



最後に、朝地小中学校の児童・生徒の代表として参加した新9年生(新中学3年生)が、これまでの準備の様子と、これからの決意を述べ、新校歌を合唱しました。



【児童生徒代表の言葉】

今日は開校式に参加していただき、ありがとうございます。開校式に臨んだ今、あらためて、私たち、朝地小中学校の新しい歴史が始まるのだという緊張と期待で胸がいっぱいになります。開校に当たり、今までの連携型小中一貫校の取り組み、そして、これから始まる小中一貫教育校 朝地小中学校について紹介したいと思います。

私たちは「連携型小中一貫校」として様々な行事・活動を小学校、中学校で一緒に行ってきました。そして、今日、「豊後大野市小中一貫教育校 朝地小中学校」として新たなスタートを切ります。これにより、今まで以上に小、中がつながり、きずなが深まっていくと考えています。

私たち朝地小中学校の特徴の一つに、地域の方に支えられ、「地域とつながっている学校」ということが挙げられます。体育祭のソーランの法被(はっぴ)は、朝地町の方々の寄付によって購入することができました。小学生が躍るエイサーのパーランクという太鼓とばちなどもそうです。私たちの活動がより充実したものになるように協力していただいています。地域の方との活動や行事もたくさんあります。小学6年生が、3泊4日の通学合宿に参加します。この活動は朝地町で20年以上も続いている活動です。地域の方の支援をいただけるからこそ行える朝地ならではの学習です。また、地域の方は毎朝、交通指導に立ってくれます。「絆の会」の「守り隊」の方々です。職場体験でも地域の方の協力をいただきます。働くことの意義や大変さを学ぶと同時に、地域の方がふるさと朝地を大切に思っているのだということも知ることができます。(中略)

さらに、私たちは小中の合同授業・合同行事で、小中の絆、つながりを深めています。(中略) 去年の11月にも、私たち中学2年生が小学校6年生と授業を行いました。6年生が市長と行った「ふれあいミーティング」のリハーサルを見せてもらい、アドバイスをしました。小学校6年生が考えた朝地町の未来を考えるプレゼンに、私たちはとても感心しましたし、同時に、私たち中学生も負けられないという気持ちにもなりました。

また、合同行事である「きずな体育祭」では、小中合同種目はもちろん、小中それぞれの種目であってもお互いが応援し合い認め合いながら、練習から当日まで活動を行います。9学年の活動ですから、苦労もたくさんありますが、それだけ私たちのコミュニケーション力や運営力・企画力が高まります。私たちが小学生のときを振り返ってみると、中学生の迫力とかっこよさ、そして、優しさにあこがれていたことを思い出します。私たちもそんな先輩になっていきたいと考えています。

文化祭も9学年で取り組みます。全校児童生徒で大壁画を作成したり、地域・保護者の方にもたくさんご来場いただき、一緒に「ふるさとおおの」を合唱したり、各学年の頑張りや成長、良さを一緒に見ることができます。(中略)

図書広報部は、朝学習の時間に中学生が小学生へ読み聞かせをします。活動の後には小学生がお礼のメッセージを届けてくれます。美化部主催の小中合同の花植え活動では、たてわり班でプランターに花を植え、地域に届けています。小学生は私たち中学生を頼ってくれます。一緒に活動すると、優しく、温かい気持ちになります。

今日から、私たちの学校は豊後大野市で最初の小中一貫教育校になります。私たちにとって、一番大きく変わるのは児童会、生徒会です。先日、立会演説会、役員選挙が行われ、新しいリーダーが決まりました。今までより大きな組織、そして、違う学年も入るといことで、今まで以上にまとめる力や先を見通す力が必要です。最高学年になる私たちがいかにリーダーシップを発揮できるかにかかっていると思います。今までの活動を生かしながら、小中一貫教育校にふさわしい児童生徒会を創っていきます。大変なことはたくさんあると思いますが、今の私たちは楽しみな気持ちの方が大きいです。豊後大野市初の小中一貫教育校として、全校児童生徒が「つながること」を常に意識しながら「前期・中期・後期の絆」「小学部、中学部の絆」「仲間との絆」そして、「ふるさと朝地の方々との絆」を大切に、頑張っていきます。

私たちは、新しいステージに向かう、「未来への決意」を大壁画に込めました。朝地小中学校、全校児童生徒で、これから大きく翔(はばたいて)いきます。支えていただいている多くの方々への感謝の気持ちを忘れずに、地域の方の期待に応えられるよう、夢と希望を持ち、前に進んでいきます。どうぞ、これからも私たちを応援してください。よろしくお願ひします。

式典の跡、朝地小学校中学校の全児童・生徒に川野市長より応援のメッセージが送られました。桜吹雪が舞い散る中庭で、新たな出発に胸を膨らませる児童生徒の輝く瞳が印象的でした。

